

## 令和4年度 第3回 稲美町地域公共交通活性化協議会 議事概要

開催日時	令和5年3月10日（金）午後3時00分～午後4時20分
開催場所	稲美町役場 新館3階 305会議室
出席者	委員14名、事務局3名、オブザーバー2名
議事次第	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 開会</li> <li>2. 会長のあいさつ</li> <li>3. 議事 <ol style="list-style-type: none"> <li>①令和4年度 収支予算の補正について</li> <li>②令和5年度 収支予算（案）について</li> <li>③令和5年度 事業計画について</li> <li>④バス路線について</li> <li>⑤その他</li> </ol> </li> <li>4. その他</li> <li>5. 閉会</li> </ol>
議事概要	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 開会 選出母体における異動等により、新しく2名が選出された</li> <li>2. 会長の挨拶</li> <li>3. 議事 <ol style="list-style-type: none"> <li>①令和4年度 収支予算の補正について <ul style="list-style-type: none"> <li>・別添【協議資料① 令和4年度 収支予算の補正について】について説明</li> </ul> <p style="text-align: center;">一同異議無し 承認</p> </li> <li>②令和5年度 収支予算（案）について <ul style="list-style-type: none"> <li>・別添【協議資料② 令和5年度 収支予算（案）について】について説明</li> </ul> <p style="text-align: center;">一同異議無し 承認</p> </li> <li>③令和5年度 事業計画について <ul style="list-style-type: none"> <li>・別添【協議資料③ 令和5年度デマンド型乗合タクシー「あいのりいなみ」事業計画】について説明</li> <li>・委員「無料利用特典について、他地域で無料施策をした際に乗り切れないほどの利用があったが、そういったことにならないか。」</li> <li>・事務局「目的は、あいのりいなみの利用促進と高齢者事故防止。地域柄自家用車の利用が多く、あいのりいなみの利用へ手段が向かっていかない現状を改善するため、まずは使ってもらい、生活の</li> </ul> </li> </ol> </li> </ol>

中で利用できるか試してもらうための施策である。ご指摘のとおり、便数等が足りるかどうか心配の声もあると思うが、登録者が大幅に増えない限り大きな利用増加はないと考えている。施策を始めてみて、運行について見直しが必要になってくれば、随時解決案について検討していきたい。」

- ・議長「施策を始めることで、状況報告をもらうことにする。」
- ・委員「免許返納者について、町としてだいたい何人ほどか把握はしているか。」
- ・事務局「警察署の所管に尋ねたが、町の対象者は把握できない。」
- ・委員「公共交通は乗務員不足が問題化している。この無料利用特典もタクシー事業者さんにどの程度の影響があるのか調査した上で進めた方が良いのでは。」
- ・委員「免許返納されている方は、すでに登録し利用している方がほとんどだと思う。それに加えて新たにご利用いただくとする施策なので、そんなに増えるとは思わない。」
- ・委員「利用促進として、登録されている方と実際に利用されている方の割合が5分の1程度であり、登録しても使っていない方がほとんどである。ただし、その5分の1のお客様の利用が増えている。」
- ・議長「高齢者を元気づける、生きがいつくりになっており、このような取り組みはいいのではないか。ただし一定の利用はされているが、もっと利用の促進をしないといけない。これについては、何か危惧されていることがあれば、モニタリングしながらみなさんに報告する、というかたちでやっていくというのでいかがですか。利用の促進については、あいのりいなみを使っていただいてバスにも乗ってもらうことができることをどう説明するかだと思う。使い方のルールが難しいのでそのあたりを含めて丁寧に説明してもらえたらと思う。」

委員「いまのところ運行台数が2台となっているが、ニーズはある程度あるということで2台で足りるのか、減らした方がいいのか、いまのところの感触と成果でどうなのか。」

委員「いまよりもお客様が増えるようならば、ちょっと2台では苦しいかなと思います。朝から晩まで増やすのではなく、午前中だけ3台にして、昼から2台にするとか。」

議長「台数を増やすにはドライバー問題がある。昨今はドライバーの確保がどこも大変と聞いているので、この辺は無理をしないよう

にせねばならないので、変更はなしにするということも理解をしなければならぬ。また、加古川医療センター行きを新たに設定することについては、以前加古川市をまたぐ医療センター行きのバスを運行したが平日は利用者が少ないという結果であった。よって、いきなり本格的な運行を始めるのではなく、検討から始めることにして、考えることをやっていってもいいのではないかとということである。イメージ的には、どのような運行の形態でどうなっていくかを説明していただき、今後はどういうイメージで運行するかを検討することは大事な話である。ここでしっかり考えを示さないと後々しんどい思いをすることが予想される。」

事務局「加古川医療センターへのあいのりタクシーの利用について、ルミナスタクシーの方に少しお話はさせてもらっている。稲美町地域公共交通計画をつくった時点から住民の方の要望・ご意見があり、加古川医療センターにもデマンド型があればそれで向かいたいという要望はあった。もともと検討すべき課題ではあった。このたび加古川医療センターを通る稲美町からの路線も欲しいという声も増えてきているので、このタイミングに合わせて具体的に検討を加速している。議長がおっしゃったように区域外に町の中から遠くに出るというほどではないが、距離的には町外にでるというかたちになる。よって、いまのあいのりいなみの形式である町内を巡回するよりは、乗り合いの設定は難しくなるかと思う。今後は線形の中で乗り合える方を見つけながらの運行になり、迎えにいった降ろして元の場所に戻ってくることを一時間の中で行わなければならない。検討するにあたっては比較的直線的な運行になってしまうかと思うが、もともと計画の中で目指していたことなので、一旦医療センターへの運行については実現に向かっていきたいと、事務局でも考えている。」

議長「公共交通計画でも位置づけられているとのことで、検討を進めてもいいのではないかと思うが、いかがか。」

委員「バスじゃなくても十分タクシーサイズでも輸送はできる。是非とも検討していただきたい。」

議長「承認したということによろしいでしょうか。」

あと、あいのりいなみの事業計画と書いてあるが、公共交通全般についての事業についても本来は報告しておかないといけないのではないかと思われる。

令和5年度はこういう事業をやるということをご紹介いただきたい。」

事務局「来年度の予算の話になるので、提案を今からしていく話なのですが、路線バスの補助事業として4路線を補助していく。保育園、幼稚園、小学生の利用促進で100円の補助をさせていただく。また、車両の補助につきましてもこのたび新しく補助をする。」

一同異議無し  
承認

④バス路線について

- ・神姫バス 別添【協議資料④ 加古川駅～県立加古川医療センター～稲美町役場前/六甲バター北線の令和5年10月での休止】について説明
- ・加古川駅～医療センター～六甲バター北/稲美町役場前の路線を、加古川駅から上新田北へ向かう路線へ統合を検討
- ・当路線の令和4年度の一便あたりの平均輸送人数は約4人で、コロナ前と比較すると約6割の水準
- ・加古川方面から若しくは加古川方面への、国岡・国安エリアの平均利用人数一便あたり0.1～0.2以下で推移
- ・県立加古川医療センターから若しくは加古川医療センターへの、町内の平均利用人数一便あたり0.2以下で推移
- ・加古川市内における移動や稲美町内の移動については、他路線が運行しているので、当路線の再編による影響は少ない。
- ・収支について、令和4年度において加古川駅～六甲バター北、加古川駅から稲美町前の2路線を合わせて、500万円の赤字

・再編に至った経緯

これまで需給調整により収支改善、定期的な利用実態調査により利用状況にあった運航ダイヤの見直し等により、路線維持に努めてきたが、改善がみられず路線再編を検討するに至った。一定のご利用のある区間については、隣接する加古川駅～上新田北口線への振り替えで維持し、稲美町から県立加古川医療センター方面への路線については、あいのりいなみ等の他モードへの路線変化で検討したい。

議長「路線の休止に関して、意見を求める。」

一同異議無し  
承認

議長「路線が休止になるが、あいのりいなみが新たな交通手段となるかと思う。実際に運行してみて新たな課題が出てくると思われるが、共有して解決に向けて一緒に考えていきたい。」

4. その他

委員「65号線にバス路線を置くことはできないか。」

神姫バス「もともと、西神中央駅から上新田の間までを走っていたが、利用状況から路線維持が非常に厳しいということで、地域の自治会の方にもご理解いただいて、休止になった。なかなか復活させ

るには難しい。今の路線でご要望があれば現地に調べに行ったり、検討できるので、何なりとご連絡ください。」

委員「わたしの家族も加古川医療センターによく行くが、診療の時間によって帰りの時間がわからないということがある。あいのりいなみの午前中と午後のバランス等、調整していただくのも必要かと思う。」

委員「バスに乗るとまず何をしたらいいのかわからない。お金を払うところでモタモタしてしまって、みなさんに迷惑かけたくないと思ったのが記憶にある。95歳のおばあちゃんは自転車に乗るが、乗せていきましょうか？と声をかけると、大丈夫、タクシー券があるからと言われる。あいのりの使い方もわかってないのが現実である。」

神姫バス「路線バスはなかなか厳しい状況だが、1回でも乗っていただいで残すのが大事なので、PRもお願いしたい。弊社としても一層の安全運転で安心して乗っていただけるように心がけます。」

委員「路線バスに対してもタクシーに対しても補助金は出ているが、やはり乗って残していくことが大事。あいのりいなみの活用も大事だが、本業のタクシーあってこそあいのりいなみ。町からもバスタクシーの補助券も出ているが、うまく活用して残していかなければならない。」

6. 閉会  
副会長あいさつ